

～こころに笑顔の種がふる～

2023 Vol.71

はあとふる

地域の皆さまに、
Warm Heart(心)
Cool Head(知識・判断)
Beautiful Hands(技術)で
ヘルスケアサービスを提供するための
コミュニケーション誌

高い専門性をもって つながる 多職種連携



はあとふるなチーム医療をめざして、
ユニフォームをリニューアルしました。

患者さん・ご利用者の安心をめざして はあとふるグループのユニフォームをリニューアル

2023年4月、はあとふるグループの全施設で、ユニフォームが新しくなりました。
職種ごとに色分けがされており、職種が一目でわかります！

ケアに関わる
決意を
紹介します！

「心」のある仕事をし、
昨日より今日、今日
より明日、成長したい

誰にでも優しく
誠実な態度で
向き合います！

患者さんに、安心して
前向きな気持ちで
来院いただける対応を

まじめに努力を重ね
信頼されるようケアを
サポートしていきます！

入念な準備で
安全・確実に院内の
設備管理を行います！

人と人とのつながり
を重視し、精一杯
前向きに頑張ります

自分の知識を増やし
患者さんやご家族に
信頼される相談員に

患者さんの
「その人らしさ」を
活かしたケアを！



理学療法士
丸山 大亮

サックス
理学療法士、作業療法士
言語聴覚士
柔道整復師、トレーナー



社会福祉士
坂本 将一朗

ミントグリーン
社会福祉士
介護支援専門員
相談員



介護福祉士
國分 隆浩

オレンジ
介護福祉士
ケアワーカー



営繕・技能労務員
清水 正裕

深川鼠
送迎運転手
営繕・技能労務員



介護ケア補助者
久保 雅浩

たんぼぼイエロー
ケア補助者



事務スタッフ
玉井 和花

ラベンダー
事務スタッフ
秘書
滅菌スタッフ



看護師
石本 優羽

オフホワイト
看護師
准看護師



公認心理師
辻尾 明子

ローズ
診療放射線技師、臨床検査技師
歯科衛生士、公認心理師
管理栄養士、薬剤師、臨床工学士

パッと見て職種がわかりやすく、
安心して声をかけていただける
ユニフォームになりました。

はあとふるグループでは、約2年かけてユニフォームのリニューアルに取り組んできました。新しいユニフォームは、全職種同じデザインで統一し、職種別に色分けをしています。患者さんやご利用者が、スタッフが何の職種なのかを一目でわかるようにするためです。

近年、多職種連携によるチーム医療の大切さが叫ばれていますが、はあとふるグループでも医師、看護師をはじめ、薬剤師、栄養士、技師、療法士、ケアワーカー、あるいはソーシャルワーカーや事務スタッフなど、多くの職種がそれぞれの専門性を持って他の職種と関わり合って仕事を進めています。

しかしそれは、患者さんやご利用者の立場からすると、混乱の原因の一つにもなります。職種が増えるほど、誰が何の役割を担っているのか？誰に何を尋ねればよいのか？がわかりにくくなるからです。

今回、ユニフォームを一新する目的は「つありました。まずは、自分が担当する仕事に対する誇りと責任感と専門性を高め、他職種との連携を深めること。そしてもう一つが、その多職種連携を、患者さんやご利用者に親しみやすく安心できるものにするということです。これを機に、今後も「はあとふるグループならではのチーム医療」に取り組んでいきます。

新ユニフォームのコンセプト

患者さん・ご利用者にわかりやすく、
スタッフも着たくなるユニフォームをめざしました！

〈患者さん・ご利用者にとっては…〉

- ①グループのスタッフであることが、一目瞭然！
- ②色が違うから、職種を見分けやすい！
- ③後ろからでも、色（職種）がわかる

〈スタッフにとっては…〉

- ①機能的なデザインで、良質なケアを提供しやすい！
- ②新ユニフォームで、業務のモチベーションアップ！
- ③はあとふるグループへのエンゲージメントが高まり、「はあとふるケア」をいつでも意識できる
- ④活発で健康的なイメージを内外に発信できる

制服プロジェクトチーム
島田さんに聞いた
コンセプトに込められた思い



7つのコンセプト
それぞれに想いを込めて
新ユニフォームをつくりました。 介護福祉士 島田 風太

前回のユニフォーム刷新から9年の年月を経て、制服に求める思いが変わってきたというのが、リニューアルの理由です。具体的には、「患者さん・ご利用者にとってのわかりやすさを第一に考えたい」や「ユニフォームで、もっとはあとふるらしさを出したい」という声が上がっていたんです。実は、以前のユニフォームは、同じ職種でも男女で色が違っているなど、多少わかりにくさがありました。

機能面でも以前のユニフォームのズボン、足にフィットする細身のデザインだったため、リハビリテーションを担当する理学療法士などは、おしりの部分が裂けてしまうこともあったんです。

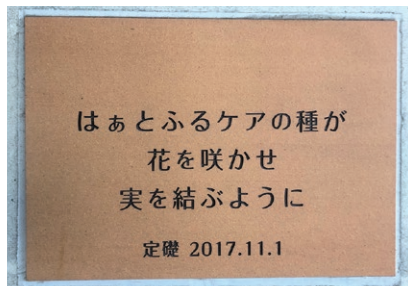
他にも、ユニフォームをリニューアルすることでスタッフのモチベーションを高めたり、グループ外へ向けて、私たちははあとふるグループの健康的なイメージを発信したりする狙いもありました。

新ユニフォーム開発ストーリー



桃の木のオブジェ

「桃の木のような、癒すことのできる場所」であって欲しいという創業者の気持ちを象徴するもので、1979(昭和54)年の病院移転時に製作され、今に引き継がれています



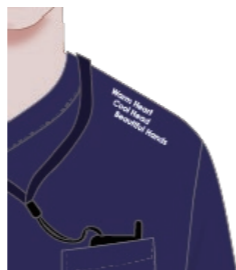
運動器ケア しまだ病院定礎

「はあとふるケア」を示す言葉がユニフォームに

はあとふるグループが提供する「はあとふるケア」とは、個人の価値観を尊重し、技術やコミュニケーションにより、その人の「自立」や「その人らしく生きること」を支援するもの。それを象徴する「理念」と「定礎の言葉」をいつも意識してケアにあたります。

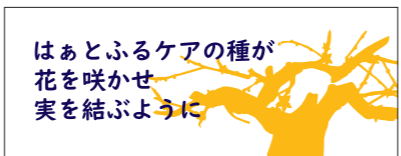
理念の刺繍

Warm Heart
Cool Head
Beautiful Hands



定礎の言葉

はあとふるケアの種が
花を咲かせ
実を結ぶように



大切にしたのは「はあとふる」らしい

はあとふるグループの全スタッフが、新ユニフォームづくりに参加

プロジェクトによる気づき

ユニフォームづくりを通じて、多職種連携がさらに強化されました

介護士や看護師、トレーナー、放射線技師など、職種も拠点も異なるスタッフが一緒になってユニフォームのリニューアルに携わったことで、今まであまり関わりのなかった職種の人ともつながりができました。大変なこともありましたが、連携が深まり、仕事をしやすくなりました。

事務スタッフは、これまでの事務服からスポーティなユニフォームになるため「印象に影響しないだろうか？T.P.Oをわきまえた服装として適切だろうか？」などという意見もありましたが、スタッフ全員の統一感を重視して、同じデザインに決定。また、

男性事務スタッフはこれまでスーツでしたが、物品の納品などで段ボールを持ち上げることも多く、新ユニフォームは動きやすいと好評。外部の業者さんと間違われることもなくなりました。



スタッフの誰もが自分ごととして取り組みました

スタッフは誰もが「自分が着るユニフォーム」ということを意識し、積極的に意見を出してくれたのがよかったです。製作会社さんやリース会社さんのやり取りでは、思うようなデザインが上がってこないなど、意思疎通の難しさを実感。改めて、相手に伝わりやすい表現を考える機会となりました。また、全員が同じユニフォームを着ることになるので、グループとしての一体感が高まるのはもちろん、防犯面でも役立つのではないかと思います。



どの職種にもお気軽にお声がけください！

これからは、患者さんやご利用者のみなさんの安心感を高めるためにも、院内で声をかけてもらいやすい雰囲気づくりを進めたいと思います。色で職種がパッとわかるので、質問や困りごとの相談など、なんでも気軽に聞いていただけたらうれしいです。

自ら手をあげて 20人のメンバーが決定！

4人のコアメンバーを軸に、「制服プロジェクトチーム」が設立。2023年4月からの着用開始に向けてチーム20人で奮闘が始まりました。グループ内の打ち合わせのほか、製作会社さんやリース会社さんとの打ち合わせも実施しながら、案を煮詰めていきました。

プロジェクトチームのコアメンバーをご紹介します



古牧由果 (事務スタッフ)

島田風太 (介護福祉士)

竹内洋次 (事務スタッフ)

高木祐介 (事務スタッフ)

2021年1月 プロジェクトスタート

デザインは検討に検討を重ねて 決定しました

ついに決定した 新ユニフォームがコチラ

候補にあがっていたデザインの一部例



スタッフ全員から意見を集め、最適なデザインに

各施設・各職種のスタッフたちを集めて、サンプル説明会・試着会を実施。スタッフ全員から意見・感想をもらい、デザインを調整していきました。多くの意見が集まったのは、ポケットの位置・大きさ、配色について。ポケットは、実際に何を入れているのかを聞き取り調査し、安全性も考慮して、位置と大きさを決定しました。色は、各職種から希望があった色。目が痛くなるような強い色は避け、落ち着きがありつつも明るく健康的なイメージの色が選ばれました。

候補にあがっていた配色の一部例



- 定礎の言葉**
「運動器ケアしまだ病院」の定礎にも書かれている言葉を背中に
- 理念の刺繍**
はあとふるグループの理念をいつも意識しています
- バックスタイル**
はあとふるケアの種が花を咲かせ 実を結ぶように
- サイドポケット**
ペンなどを入れる大きめサイズのポケットは、体の側面に。介助の際にもご利用者に当たりにくい
- 履きやすいデザイン**
ズボンの身幅はゆったり。足首はスリムに絞ったデザイン
- ストレッチ素材**
スッキリ見えるのに、ゆったり着られるストレッチ素材を採用
- ループ**
医療機器や名札を掲げるループ。名札の表記は誰もが読みやすいひらがな。車いすの方からも見えやすい位置です
- 地色は濃紺**
各色が映える色にしました



運動器ケア しまだ病院 副院長
人工関節センター センター長
佐竹 信爾

●整形外科専門医/日本人工関節学会認定医
1999 (平成 11) 年 大阪市立大学医学部卒
2001 (平成 13) 年 島田病院 (当時) 入職
人工関節、四肢の骨折を専門としつつ、再生医療によるひざ痛緩和や、内科的アプローチによる高齢者医療活動にもあたる。

VELYST™ RASは、わたしたちが掲げる「動いて治す」にマッチした最新の手術支援ロボットです。



人工ひざ関節全置換術とは？

変形性ひざ関節症や関節リウマチなどによって変形したひざ関節の表面を取り除き、関節が滑らかに動くよう、正常なひざ関節の表面と同様に設計された「インプラント」と呼ばれる部品に置き換える手術です。

●日本の人工ひざ関節全置換術 手術件数



世界の人工ひざ関節全置換術症例数は、2050年までに1.4倍以上になることが予測されています。また、世界に先行して高齢化が進む日本ではすでに、2010年/約6.9万例から2021年/約10.1万例へと、12年間で1.46倍も増加しています。(*1)

*1：矢野経済研究所 2021年版 メディカルバイオノクス（人工臓器）市場の中期予測と参入企業の徹底分析 厚生労働省 医師・歯科医師・薬剤師統計

支援ロボットを活用した人工ひざ関節手術についてよくあるご質問

Q.ひざ関節手術支援ロボットはほかにもあると聞きますが、なぜこのロボットを導入したのですか？

A.ひざが曲がるすべての角度において、その時の靭帯バランスを確認できる機能を持ったロボットだからです。

Q.このロボットを導入すると、今までの手術と何が違うのですか？

A.従来の方法よりも手術の精度が高くなります。靭帯を剥がす量を減らしてひざの全体バランスがとれるため、術後の回復が早くなります。

Q.手術はロボットが行うのですか？

A.手術をするのは医師です。わたしたちが実際に患者さんにふれて手術を行います。ロボットはあくまでサポートツールで、医師の能力を最大限に引き上げる役割を担います。



人工ひざ関節手術支援ロボット VELYST™ RAS 3つの特長

- 1 ロボットが医師の能力を最大限に引き上げる
- 2 ひざ周囲の靭帯、筋肉、関節のバランスが最大限に考慮される
- 3 手術後の生活がより機能的に

導入する手術支援ロボットの正式名称は、人工ひざ関節全置換術用医療機器「VELYST™ ロボット支援ソリューション」(以下「VELYST™ RAS」)となります。人工ひざ関節手術で良好な成績を得るには、ひざの靭帯バランス調整を含めた手術の正確性、人工関節自体の性能、手術の低侵襲性(手術によるひざ機能の損傷や負担を少なくすること)が求められます。

運動器ケアしまだ病院の治療の根幹にあるのは、「動いて治す」という考えです。もしもカラダの運動器に不具合が起きたときには、自身のカラダの機能を最大限に活かし、自分らしい生活、仕事、スポーツに戻れることを目指して、まずは徹底的なリハビリテーション(保存療法を行います。それでも手術が必要になった場合は手術を行います。手術はあくまで緊急処置です。手術が終わればそれで完治するもの



このVELYST™ RASは、ひざが曲がるすべての角度において、その時の靭帯バランスを確認できる機能を持ったロボットで、靭帯を剥がす量を減らしてひざの全体バランスをとることができ、そのため、ひざ機能への侵襲性が低く、そのぶん術後の回復を早められます。手術の後も「動いて治す」。そのために、ひざの機能を最大限活かすことができる緻密で質の高い手術・カラダに負担の少ない手術の実現をめざす。今回導入するVELYST™ RASは、わたしたちが掲げる「動いて治す」という考え方を実現できる最新の医療機器なのです。

2023年4月 人工ひざ関節手術支援ロボット導入
ロボットで負担の少ないひざ関節手術を実現
術後の回復を早めて、動いて治す！
運動器ケアしまだ病院では、2023年4月から、人工ひざ関節手術支援ロボット・VELYST™ RASを導入します。この人工ひざ関節手術支援ロボットを導入する目的と、それによって得られる効果について、副院長・佐竹信爾Dr.に聞きました。

J3リーグに参入したFC大阪のチームドクターとして、運動器ケアしまだ病院医師もベンチ入り！ 青少年や高齢者に夢や元気なカラダを。 スポーツを通じて、大阪を盛り上げたい！

FC大阪は、今シーズンから見事J3リーグ参入を果たしました。その選手たちのカラダを長年に渡ってサポートしてきたのが、はあとふるグループの「TASH」です。この活動の狙いと今後の展望をレポートします。



FC大阪では、サッカーに慣れ親しんでもらうための子ども向けサッカーイベントや「大人のフットサルスクール」、未来のプロ育成もめざした「ジュニアサッカースクール」なども開催。はあとふるグループは、ブラチナムパートナーとして、FC大阪のこれらの活動を支援しています

FC大阪は、今シーズンから見事J3リーグに参入。ガンバ大阪、セレッソ大阪に次いで、大阪で3番目のJリーグチームとなりました。これに当たり、2015年からFC大阪の選手のサポートを続けてきたTASHは、チームドクターとしてFC大阪のJ3公式戦全日程でベンチ入りすることとなりました。運動器ケアしまだ病院の医師、富原朋弘を中心に整形外科医がローテーションで帯同します。

3つの狙いと願いを込めたTASHの活動

TASHの活動には、3つの狙いと願いが込められています。まずは、トップアスリートへのサポートを通じて、カラダづくりやケアに関する高度なノウハウを獲得すること。次に、それらの知見を青少年のスポーツ障がい予防や患



運動器ケアしまだ病院
ひび館鏡センターセンター長
整形外科医 富原 朋弘

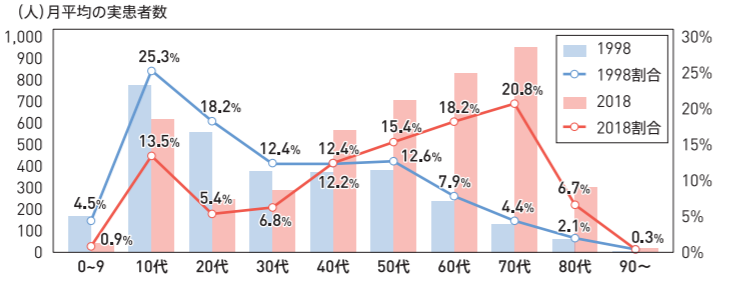
者さんの治療に役立てること。そしてケガなくスポーツを楽しむ習慣や環境を作ること。青少年や高齢者に、夢の実現や元気なカラダづくりをサポートし、笑顔あふれる大阪のまちづくりに貢献することです。

さまざまな分野の選手のサポートへ

FC大阪とTASHの関わり

は、TASH発足の翌年、2015年に始まりました（左ページ年表参照）。当時のFC大阪は日本フットボールリーグ（JFL）に所属しながら、大阪で3番目のJリーグ入りをめざして練習を続けるチームでした。

「スポーツ整形外科・島田」から「高齢者のカラダづくり・しまだ」へ



1998年と2018年の外来患者さんの年代別割合を1998年と2018年で比較してみると、'98年当時には10代～20代の外来患者さんが多かったのに対し、20年を経た'18年には、60代～70代の外来患者さんが大幅に増加していることがわかる

めましました。

青少年のカラダづくりや、スポーツ障がい予防のために

これをきっかけにして、TASHのさまざまな分野のアスリートへのサポートが始まりました。そうしてアスリートに関わるほかに、そこで得た知見やノウハウは、アスリートに限らず、広く応用できることがわかってきます。その一つが、青少年のスポーツ障



4月1日には、FC大阪のホームスタジアム・東大阪市花園ラグビー場にカタレ富山を迎えて、公式戦が行われた。はあとふるグループ代表・島田永和も応援にかけつけ、(プロ野球の始球式にあたる)「キックインセレモニー」のキッカーを務めた

高齢者が運動機能を維持できるスポーツを！

また、社会の高齢化が進み、運動機能維持の大切さが謳われるようになると、そのノウハウは高齢者のカラダづくりにもそのまま活かすことができます。



子どもたちと交流するのはあとふるグループ代表・島田永和(背番号12)

動いてナンボープロジェクトで大阪をもっと元気に！

いま、はあとふるグループでは、「頭と身体は使ってナンボー動い



FC大阪名誉会長・吉澤 正登氏と一緒に

てナンボー」をキャッチフレーズとした「動いてナンボープロジェクト」をスタートしています。これは、世代を問わず、多くの方の夢の実現や、元気なカラダづくりをサポートし、さらにはそうして生み出される情熱と元気で大阪をもっとパワフルに盛り上げていこうとする活動です。

今後もTASHが中心となって大阪サッカー協会をはじめFC大阪、セレッソ大阪などのプロチーム、さらにはさまざまなスポーツ団体などとも連携し、動くことの大切さと楽しさを啓発していく予定です。ご期待ください。

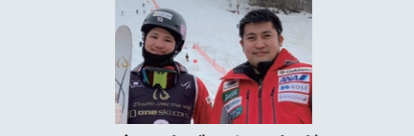
TASH (Top Athlete Support team Heartful) とは？

はあとふるグループの院外活動で、アスリートが最大のパフォーマンスを発揮できるよう、医師、理学療法士、トレーナー、看護師などの多職種が連携し、スポーツ医学の視点からカラダづくりをサポートしています。

TASHは競技ごとにサポートチームを編成しており、J3・FC大阪のほかにも、アーティスティックスイミング日本代表チーム、フリースタイルスキー・モーグル日本代表チームなどをサポートしています。

はあとふるグループのアスリートサポート活動の概要(一部)

- 2002年 ● 井村アーティスティックスイミングクラブ
- 2010年 ● 阪南大学トランポリン競技部
- 2012年 ● 大阪3×3バスケットボール連盟
- 2014年 ● TASH 発足
- 2015年 ● FC 大阪
 - 金蘭会女子中学校バレーボール部
- 2016年 ● アーティスティックスイミング日本代表チーム 帯同
- 2019年 ● フリースタイルスキー・モーグル日本代表チーム 帯同
- 車いすバスケットボール男子日本代表強化メンバー 堀内翔太選手
- 2022年 ● 大阪エヴェッサ U-18



毎年道頓堀リバーフェスティバルにも参加。2022年秋は、タレント・原田伸郎さんとFC大阪の選手と一緒にイベントを盛り上げた

古墳のまちでのエトセトラ

Information



5月12日は



看護の日

誰もが「看護の心」「ケアの心」「助け合いの心」を育むきっかけになるように、1990年にフローレンス・ナイチンゲールの生誕の日である、5月12日が「看護の日」となりました。

はびきのキャンパス



5月13日(土) 10:00~14:00 (入場13時30分まで)

@運動器ケア しまだ病院1階エントランス
大阪府羽曳野市榎山100-1

- 体験ブース**
 - 看護師なりきり体験 (小学生以上対象)
 - ハンドマッサージ
 - 手洗い体験
 - 歯ブラシのあて方
- 健康ブース**
 - 体組成測定
 - 運動器検診(小児)
 - 骨密度測定
 - CogEvo
- 相談ブース**
 - 健康相談
 - 介護相談

展示ブース

- 放射線技師のお仕事 (ポータブル/プロテクターの展示/MRIについて)

催事ブース

- 写真撮影スポット
- お祭り縁日
- おすすめおやつ紹介

やおキャンパス



5月10日(水)・12日(金) 9:00~12:00

5月11日(木) 9:00~12:00、16:00~17:00

@八尾はあとふる病院1階ロビー 大阪府八尾市美園町2-18-1

- DVD「骨粗しょう症を予防するために」放映
- 血圧測定(ご希望の方のみ)
- フレイル予防や骨粗鬆症予防に関する冊子、大阪府の「人生会議—アドバンス・ケア・プランニング(ACP)」パンフレットなどを配布します。

来院時はマスクの着用をお願いします

参加費 無料



一手と目で見て護る

看護の日 開催。

はあとふるグループでは、5月10日~13日にかけて、看護の日を迎えるにあたり、はびきの・やお両キャンパスで、看護について考えるイベント「看護の日—一手と目で見て護る—」を開催します。看護の仕事を実験していただいたり、看護するやりがいや喜びを感じていただいたり、みなさんと一緒に「その人らしい看護のあり方」を考えます。



1人あたりの栄養価
エネルギー：318kcal
たんぱく質：6.5g
塩分：1.4g

はあとふる 食堂

管理栄養士の旬のレシピ



運動器ケア しまだ病院 栄養チーム 秋山 好花

vol.15 春野菜の炊き込みご飯 生姜の香りで食欲アップ!!

材料 (3~4人分)

- ごはん2合
- たけのこ水煮160g(1個)
- 生姜40g
- きぬさや20g(12本)
- 薄口醤油大さじ2
- 酒大さじ2
- みりん大さじ2

作り方

- 1 たけのこを小さめの角切りに、生姜をみじん切りにする
- 2 釜に研いだ米と調味料を入れる
- 3 ②に水を釜の目盛りより気持ち少なめに入れる (今回は2合分)
- 4 たけのこと生姜を釜に入れて炊く
- 5 きぬさやの筋取りをして、1分ほど茹でて刻む
- 6 お椀にご飯を盛り、きぬさやをトッピングして完成

寒い冬が終わり、暖かい季節になってきました。春は、気候の変動や新生活の始まりなどによって、ストレスを感じやすくなります。しっかり食事はとれていますか？

今回は、春が旬の食材を使った簡単レシピを紹介するので、ぜひ試してみてください。このレシピで使用する生姜が料理のアクセントになります。

生姜の香り成分は胃液の分泌を促し、食欲増進させる効果があります。ご飯をしっかり食べて、元気に新生活をスタートしましょう。

Point

- * トッピングのきぬさやは、青ネギ・大葉などお好みのものでもOK!
- * 醤油は濃口より薄口の方が見た目も良くなり、塩加減もちょうど良いのでおすすめです!

はあとふる Vol.71 2023年4月

「今号の記事」

02	〈特集〉 患者さん・ご利用者の安心をめざして はあとふるグループの ユニフォームをリニューアル	10	〈連載〉 はあとふる食堂 — 管理栄養士の旬のレシピ — 春野菜の炊き込みご飯
06	〈連載〉 はあとふるグループの動くNEWS① 2023年4月 人工ひざ関節手術支援ロボット導入 ロボットで負担の少ないひざ関節手術を実現 術後の回復を早めて、動いて治す!	10	はあとふる たより「動く。」
08	〈連載〉 はあとふるグループの動くNEWS② J3リーグに参入したFC大阪のチームドクターとして、 運動器ケア しまだ病院医師もベンチ入り! 青少年や高齢者に夢や元気なカラダを。 スポーツを通じて、大阪を盛り上げたい!	11	古墳のまちでのエトセトラ — Information — 一手と目で見て護る— 看護の日開催。

はあとふる たより

動く。

はあとふるグループでは、毎月1回、施設内にメッセージポスター「動く。」を掲出しています。私たちが日々の医療・介護現場で感じていることをスタッフみんなで共有したい、そんな想いから始めた活動です。ぜひ、「一読ください」。

サンキューカードを知っていますか。ありがたい気持ちを書き添えて仲間同士で交換するカードのこと。しまだ病院の看護師のみんなは、こつこつとつくりと育んで、ありがたいの輪を広げてきた。

病棟に貼られたカードの一つにこんなメッセージが。それぞれが患者さんを主語に素直な看護をしてくれてありがとう。みんながいるから、私は胸張って患者さんの元へいけますし頑張れます。

メッセージは語りかける。一つは、私たちは互いに、助け合い、頼り合い、迷惑をかけたり、かけられながらも、共に同じ道を歩んでいるということ。もう一つは、落ち込んでも今日を頑張れるのは、自分を肯定してくれる仲間がいるからだということ。

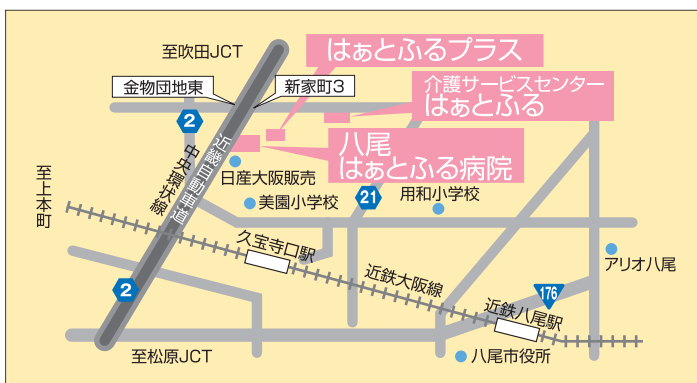
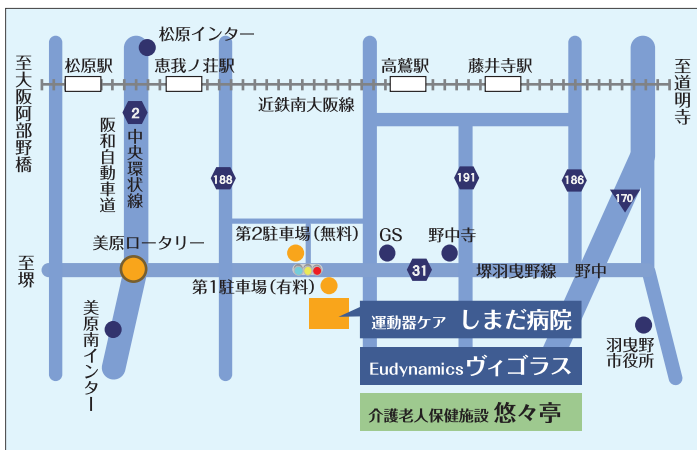
みんなが交わすありがたいの言葉は、目には見えない大切なことを私たちに教えてくれる。

その一つひとつをこぼさないように、これからもずっと、ありがとうを伝え続けていきたい。

その人がその人らしく自分の人生を全うすることを
Warm Heart -心- Cool Head -知識・判断- Beautiful Hands -技術- で支援します



<https://www.heartful-health.or.jp/> はあとふるグループ



はあとふるグループ

医療法人はあとふる

- 運動器ケア しまだ病院 Tel.072-953-1001 / Fax.072-953-1552
- Eudynamics ヴィゴラス Tel.072-953-1007 / Fax.072-953-1007
- 介護老人保健施設 悠々亭 Tel.072-953-1002 / Fax.072-953-1911
 - 通所リハビリテーション Tel.072-953-0045 / Fax.072-953-1911
 - 訪問リハビリテーション Tel.072-953-1002 / Fax.072-953-1911
- 通所介護 悠々亭 Tel.072-979-7807 / Fax.072-953-1911
- 訪問看護ステーション ハートパークはびきの Tel.072-953-1004 / Fax.072-953-0022

〒583-0875 大阪府羽曳野市榎山100-1

- 介護サービスセンター ゆうゆう亭 Tel.072-953-5514 / Fax.072-953-1332
- ヘルパーステーション 悠々亭 Tel.072-953-1062 / Fax.072-953-0022

〒583-0883 大阪府羽曳野市向野3-96-7

- 八尾はあとふる病院 Tel.072-999-0725 / Fax.072-923-0180
 - 通所リハビリテーション Tel.072-999-0726 / Fax.072-923-0186
 - 訪問リハビリテーション Tel.072-999-0725 / Fax.072-923-0180

〒581-0818 大阪府八尾市美園町2-18-1

- 介護サービスセンター はあとふる Tel.072-999-8126 / Fax.072-999-6118

〒581-0815 大阪府八尾市宮町5-6-22

- 通所介護 はあとふるプラス Tel.072-920-7216 / Fax.072-920-7256

〒581-0815 大阪府八尾市宮町6-6-16

- 羽曳野市西圏域 地域包括支援センター Tel.072-953-1003 / Fax.072-955-8301

〒583-0875 大阪府羽曳野市榎山100-1 介護老人保健施設 悠々亭1階

社会福祉法人はあとふる

- 通所介護 ゆうゆうハウス Tel.072-931-1616 / Fax.072-931-1128
- サービス付高齢者向け住宅 ゆうゆうハウス Tel.072-931-1616 / Fax.072-931-1128

〒583-0875 大阪府羽曳野市榎山96-10

株式会社はあとふる

Tel.072-935-1821 / Fax.072-939-2309

〒583-0883 大阪府羽曳野市向野3-96-7